

総合ガイド

漢字

漢字の読み書きについて

漢字の「読む・書く」の学習では、読みの習得をはかった上で、書きの習得を図ることが大切です。また、子どもが読みの習得困難を軽減する上で、読みのイメージ形成を図ることが大切であることも明らかになってきました。

漢字の読みの習得

漢字の読みの習得をはかる上で、漢字の意味に対応したイラストの活用と、イラストの視覚的イメージの定着を図ることをポイントにしながら、読みの定着を促します。

単語の視覚的イメージの定着が特に効果的な子どもは、聴覚記憶の弱い子どもであると言われています。聴覚記憶の弱い子どもにとって、特に効果的であることが言えます。

漢字の書きの習得

書き困難の軽減をはかる上では、視覚認知が弱く、聴覚記憶が強い子どもでは、書く活動を言語的手がかりに置きかえる方法が有効であることが指摘されています。

また、視覚認知が強く、聴覚記憶が弱い子どもでは、視覚記憶を手がかりとして書字を行う指導が有効であることが指摘されています。

漢字プリントについて

漢字プリントは、視覚認知が弱く、聴覚記憶が強い子どもを想定して、漢字の言語的手がかりに基づく書字指導ができるように工夫しました。

また、視覚認知が強く、聴覚記憶が弱い子どもを想定して、視覚記憶を手がかりとした書字指導を工夫しました。

教材作成に当たっては、子どもの聴覚情報処理、視覚情報処理の特徴を考慮しながら、学習方法を工夫することで、習得が容易になります。